



特産品販売所「自慢館」 入館者50万人を突破

9月17日（金）特産品販売所「自慢館」の入館者が50万人を突破しました。50万人目に入館されたのは神子の栗野トキさんで、記念品として特産品の詰め合わせが贈られました。

栗野さんは、「北海道の親戚に柿と栗を送るため、買いに来ました。こういう経験は生まれて初めてです。ありがとうございました。」と大変喜んでおられました。

また、499,999人目の神園ヒロ子さん（柏原）、500,001人目の杉下須美子さん（柏原）にもそれぞれ特産品のセットが贈られました。

鹿児島県障害者職業能力開発校入校生募集

鹿児島県障害者職業能力開発校では、障害者の方々に対し職業訓練を行うことで自立更生のお手伝いをするを目的として下記の訓練を行っています。

1. 募集科目、定員及び募集資格

課 程	訓練科	定員	訓練期間	応募資格
普通 課程	製版・印刷科	1 0 人	1 年	身体障害者手帳保持者で高卒及び同等以上の学力を有する人
	義肢・装具科	1 0 人		
	経理事務科	1 0 人		
	情報ビジネス科	2 0 人		
	電子制御システム科	2 0 人		
短期 課程	総合実務科 (知的障害者対象)	1 0 人	1 年	療育手帳所持者で義務教育終了以上の人
	洋裁科	1 0 人	1 年	身体障害者手帳所持者で義務教育終了以上の 人
	園芸科	1 0 人		

※各訓練科目ごとに要件が違いますので詳しくは鹿児島県障害者職業能力開発校又は役場住民課福祉係へお問い合わせください。

2. 応募の手続き

- (1) 入校願書
- (2) 障害診断書（結核性疾患回復者は健康診断書も必要）
- (3) 身体障害者手帳又は療育手帳の写し（申請中の人は判断書の写し）
- (4) 受験票及び合否結果通知郵便先の住所・氏名を記入した封筒計2部

※書類は、公共職業安定所と役場住民課にあります。

3. 募集期間 平成16年10月1日から11月5日（当日公共職業安定所受付印有効）

4. 選考日程及び会場

平成16年12月2日（木） 鹿児島県障害者職業能力開発校

5. 選考方法 筆記試験（国語・数学）及び面接

6. 問い合わせ 鹿児島県障害者職業能力開発校 入来町副田6285 ☎44-2207

柏原区 村づくり研修を実施



熱の入った講演が行われました

柏原区村づくり推進委員会が、9月12日（日）村づくり研修会を実施しました。

これは、柏原地区が平成14年度にむらづくり活性化戦略モデル事業の指定を受けており、本年度は、県単独農業農村整備調査の指定を受けたことに伴い、区民自ら村おこしの気運を持つことが必要とのことで開催されたものです。

研修では、講師として串良町柳谷公民館長の豊重哲郎先生による「むらづくりは自らの手で」と題して講演が行われ、自分たちの手でさつまいもを栽培し、その益金で高校生クラブの活動をはじめ、地区の運営を行っている話などをされ、約50人の参加者は、感心しながら聞き入っていました。

浦川内公民館 彼岸花を楽しむ

鶴田区の浦川内で9月19日（日）彼岸花祭りが、開催されました。これは、^{とつぱたいばし}飛渡橋下の浦川沿いに多くの彼岸花が咲いており、地元でその花を楽しもうと開催されたものです。また、浦川内公民館は、自治公民館活性化事業に取り組んでおり、それを利用して開催されました。

当日は、集落内のお年寄りから子供まで約50人が集まり、夜遅くまで懇談をしながら、彼岸花を楽しみました。夕方になるとライトアップされたので、花の美しさは一層際立ちました。



彼岸花を楽しむ参加者

つるだ新ごぼう^{はしゅ}播種 昨年に続き1億円突破を願い



芽が出たばかりの畑で作業する須山さん

つるだ新ごぼうの播種が、9月中旬から始まりました。今年は、新規就農者も増え、会員25人で約16ha栽培されます。

今回新たに就農されたのは、広南の須山リエさんで、水俣市から本町に来られました。須山さんは、「土をいじるのが好きで、農業を始めました。ごぼうを4反作っています。」と明るいつまみ表情で話されました。

ごぼうの播種は、10月下旬まで行われます。